

ミニカセット レコーダ  
Mini Cassette Recorder

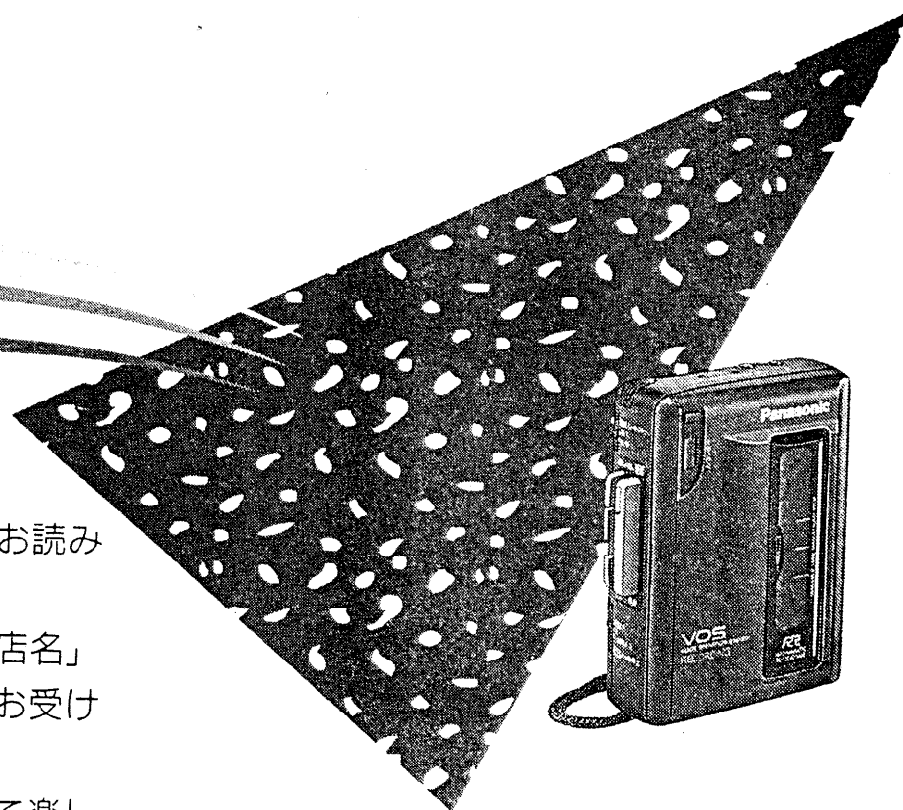
品番 **RQ-L344**

取扱説明書

Operating Instructions

# Panasonic

- この説明書と保証書をよくお読み  
のうえ、正しくお使いください。  
そのあと大切に保存し、必要なときお読み  
ください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」  
などの記入を確かめて、販売店からお受け  
取りください。
- あなたが録音したものは、個人として楽し  
むなどのほかは、著作権法上、権利者に無  
断で使用できません。



保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは「ミニカセットレコーダRQ-L344」  
をお買い上げいただき、まことにありがとう  
ございました。

## 安全にご使用いただくために

■加工・改造はしない  
故障の原因になります。

■落としたり、強い衝撃をあたえない  
破損することがあります。

■避けてほしい使用場所は  
次のような所で使用すると故障の原因になり  
ます。

- 風呂場など湿気の多い所
- 倉庫などほこりの多い所
- 暖房器の近くなど温度が高い所

■夏の閉めきった車内に放置しない  
100°Cに達することもありますので、キャビネ  
ットが変形、変色することがあります。

■キャッシュカードなど磁気を帯びているも  
のに近づけない

スピーカの磁気の影響で、定期券や時計など  
も近づけると、内容がくるうことがあります。

### 露付き現象について

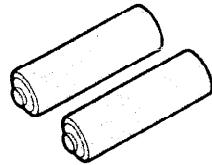
本機を0°C前後から温かい場所へ急に移したと  
き、正常に動作しないことがあります。これ  
は、本機の動作部に露が発生したためで、60  
分程で正常に戻ります。

# もくじ

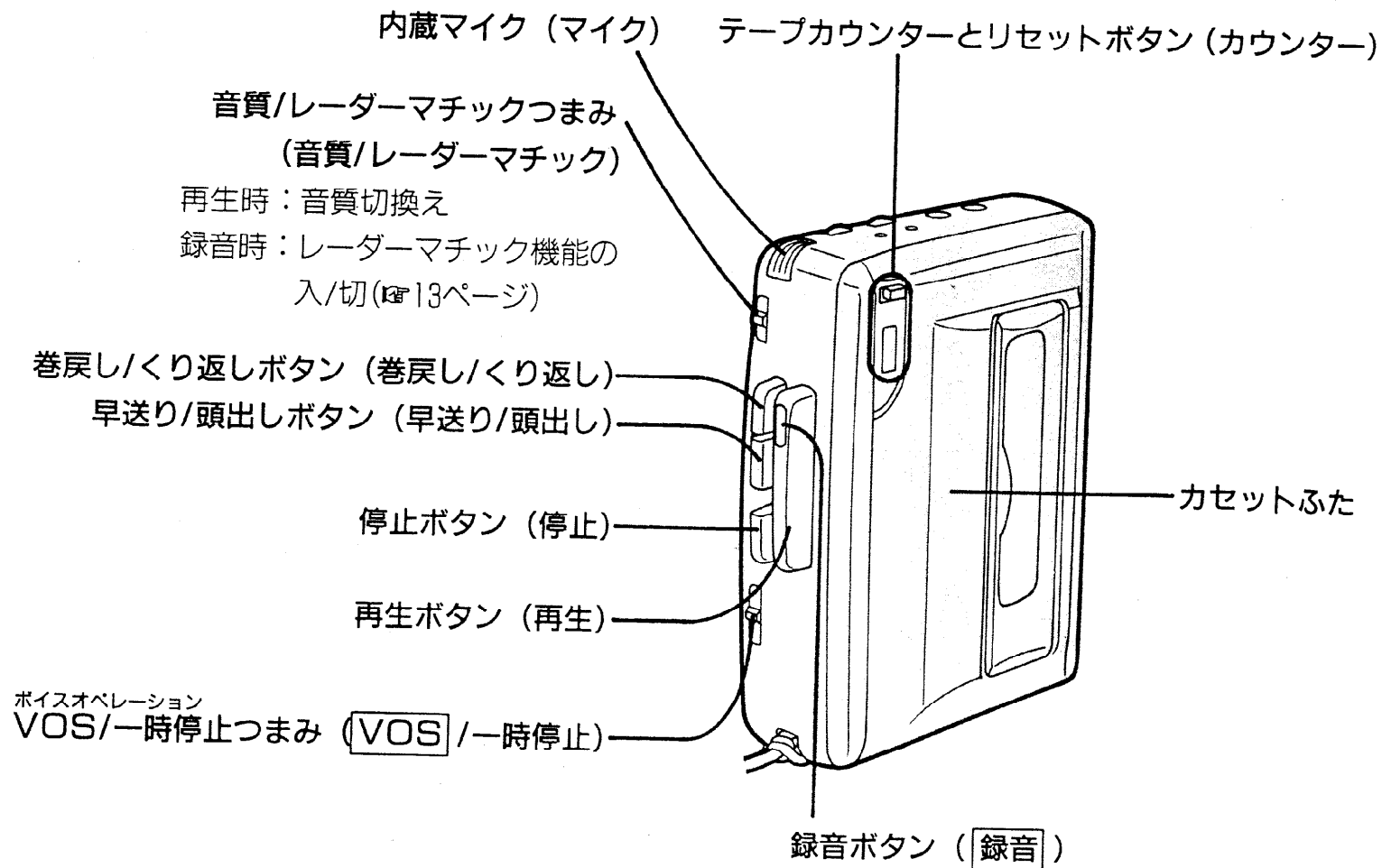
各部のなまえと働き	4
電源について	6
テープを聞くには	8
録音するには	12
<small>ボイスオペレーション</small> VOS録音するには	16
お手入れ	18
故障!?と思う前に	19
別売りアクセサリ	20
アフターサービス	21
定格	22
Operating Instructions	23

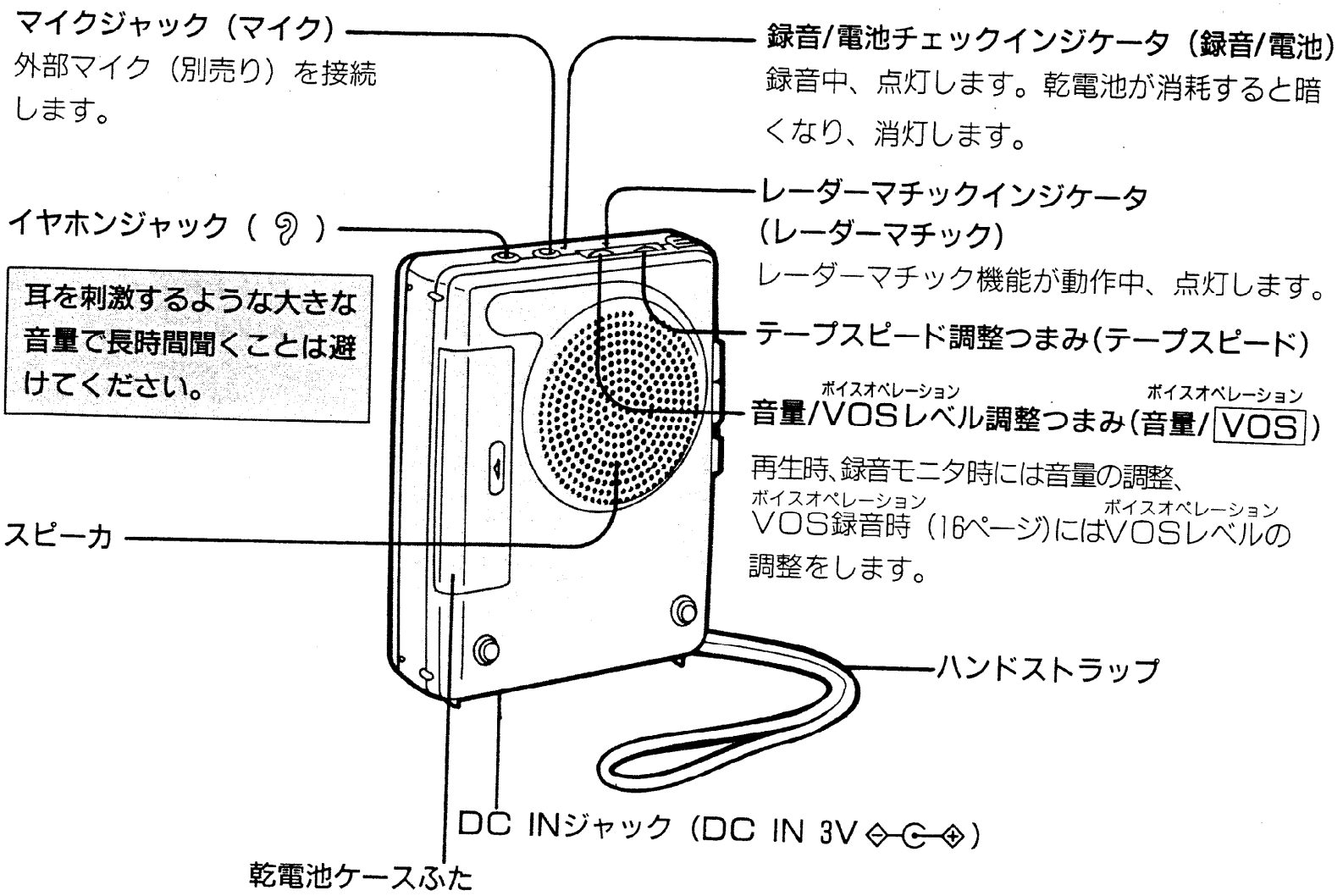
## 付属品

単三形乾電池  
R6P 2本



# 各部のなまえと働き

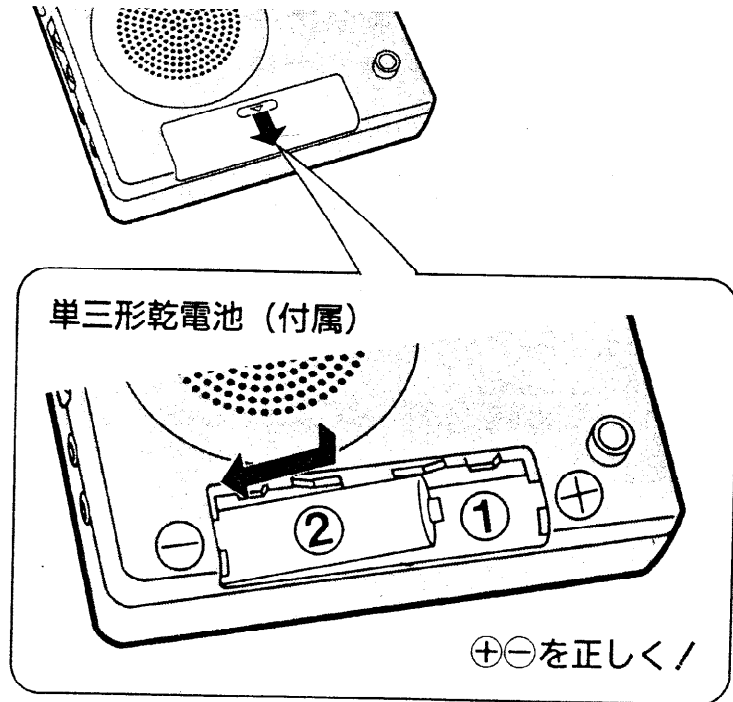




# 電源について

## 乾電池で使用するには

乾電池ケースふたを開け、番号順に入れます。

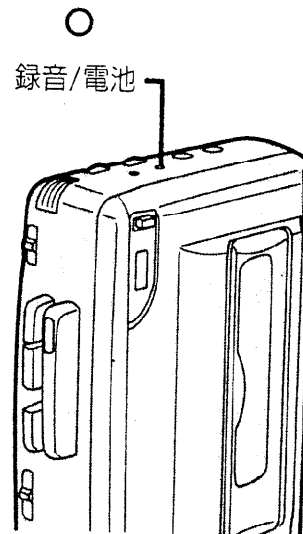


取出しかた

②の乾電池を⊖方向に押しながら引上げます。

## 取替時期は

音がひずんだり、小さくなったり、動作に異常が現れたときは、全部新しい乾電池と取替えてください。録音中の録音/電池チェックインジケータの状態が、目安になります。



明るく点灯している

●そのまま使えます。

点灯しているが暗い/  
消えている

●乾電池は消耗しています。

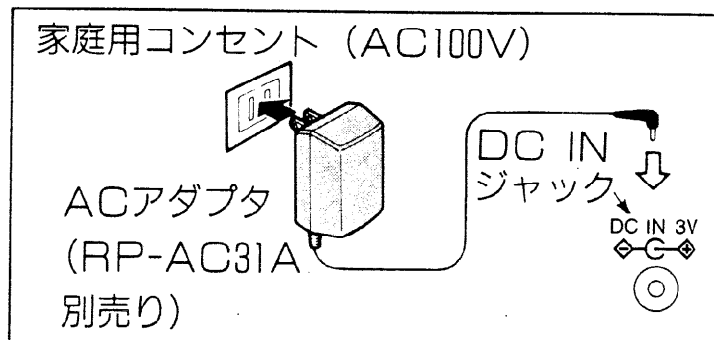
乾電池の破損、液漏れなどの防止のために

— 次のことをお守りください —

- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れる。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しない。
- 違う種類（マンガンとアルカリ）の乾電池は混用しない。
- 充電をしない。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。  
本体電源をいつも家庭用コンセントで使用する時も、取り出しておく。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱はしない。

## 家庭用電源(AC)で使用するには

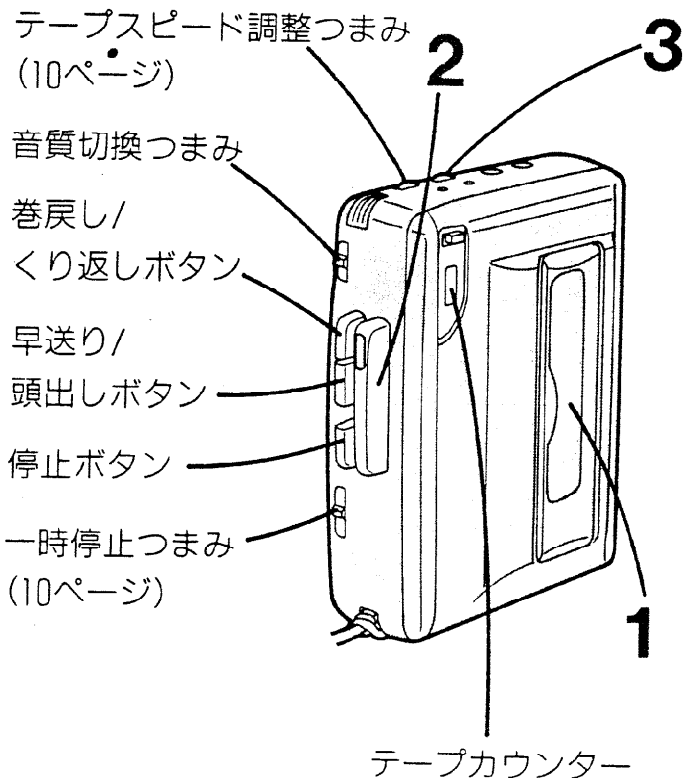
ACアダプタ（別売り）を接続すると、家庭用電源で使用できます。



- 市販のACアダプタには極性が反対のものがあります。必ず指定のものをご使用ください。
- 乾電池電源で使用するときは、必ず本機側のプラグをはずしてください。そのままでは乾電池電源に切りかわりません。
- 本体とACアダプタは少し離してお使いください。近づけ過ぎるとハム（ブーンという音）が出ることがあります。

# テープを聞くには

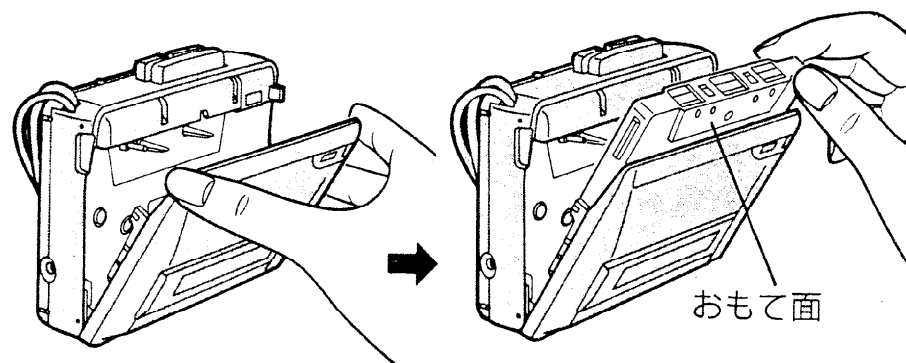
本機では、ノーマルテープのみ使えます。



## 確認

一時停止つまみは“切”になっていますか？

## 1 テープを入れる



### ■テープカウンターについて

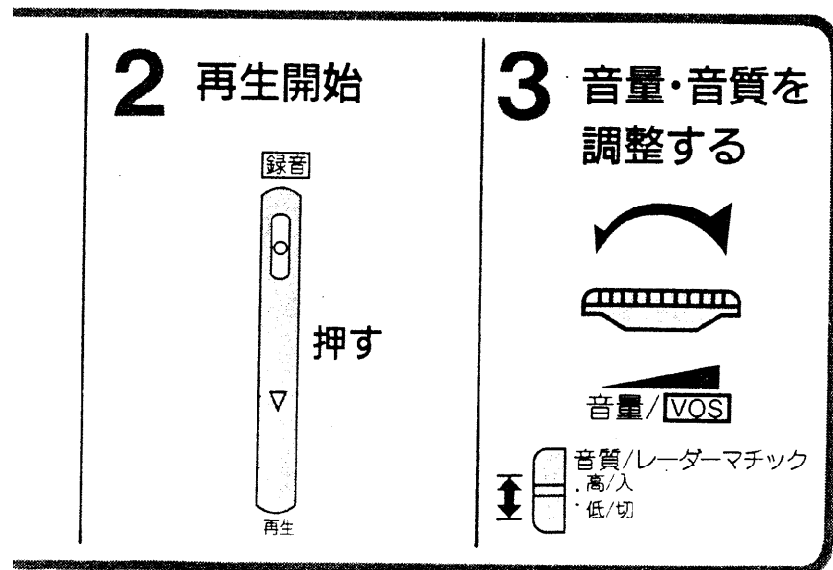
テープ走行とともに数字が変わります。

リセットボタンを押すと、“000”に戻ります。

●リセットボタンは、しっかり押ししてください。

押しかたが弱いと、カウンターが“000”に戻らないときがあります。





■再生を止めるには  
停止ボタンを押します。

## 早送り・巻戻しをするには

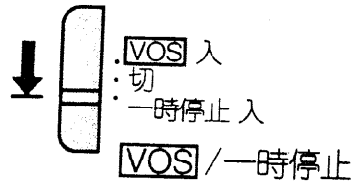
停止中に、早送り、巻戻しボタンを押します。

- 早送り、巻戻し中に、もう一方の早送り、巻戻しボタンや再生ボタンを押込まないでください。必ず停止ボタンを押してから操作してください。

## 聞きたい部分を探すには

再生中に頭出し、くり返しボタンを押し続けると、キュルキュルというモニタ音を聞きながら聞きたいところをさがすことができます。指を離すと、その位置から再生が始まります。曲間（音の途切れる部分）で指を離すと、曲の頭出しをすることができます。

## テープ走行を一時停止させるには



一時停止つまみを“一時停止 入”にすると、テープの走行を一時停止させることができます。“切”にすると再び走行します。

- 長時間走行を停止させるときは、必ず停止ボタンを押してください。
- 再生、録音の前には、一時停止つまみが“切”になっているかをご確認ください。

## テープスピードを変えるには



◀遅い 速い▶  
テープスピード

会議や講演などのテープで、聞きとりにくいところをゆっくり再生したり、不要な部分を早く再生することができます。

白い点を中央に合わせたところが標準のスピードです。

- 録音時には働きません。

## オートストップ

テープが終端まで来ると、押込んでいたボタンがもとに戻り、テープ走行が停止します。

- 早送り・巻戻しのはきは、働きません。必ず停止ボタンを押してください。

## カセットテープについて

ノーマルタイプのカセットテープを使用してください。クロームタイプやメタルなど他のテープを使用しますと、本機の性能を十分発揮できないことがあります。

### ■90分を越えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻込まれることがありますので、ご注意ください。

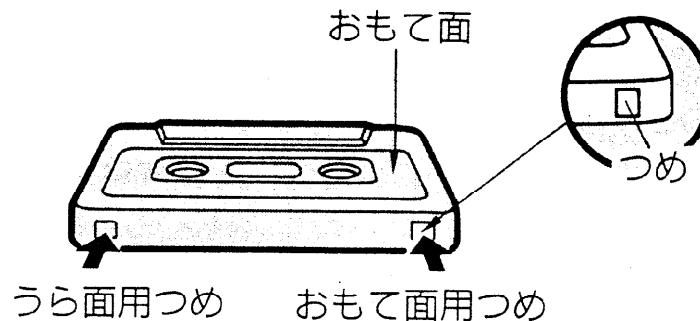
### ■誤って消さないために

カセットテープにはおもて面(A面)とうら面(B面)に誤消去防止のためのつめがついています。

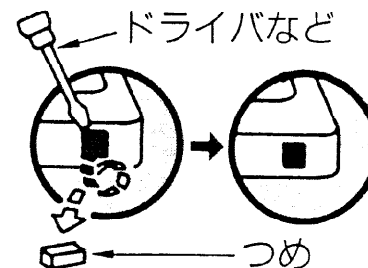
### ■保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

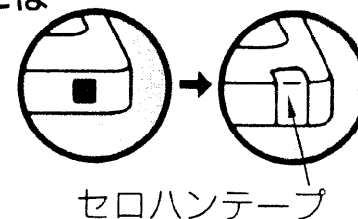
- ・直射日光の当たる所
- ・高温 (35°C以上) や高湿 (80%以上) の所
- ・磁気のある所 (スピーカの近くや、テレビの上など)



- 誤消去を防ぐには  
ドライバなどで  
つめを折取る。



- もう一度録音するには  
セロハンテープを  
貼って穴をふさぐ。

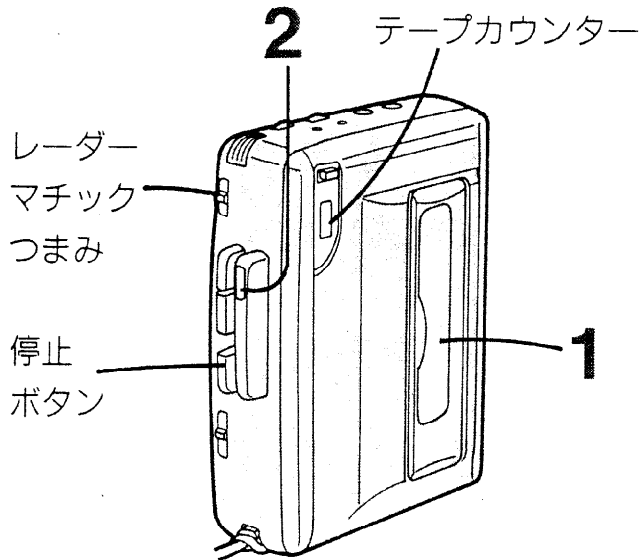


# 録音するには

自動録音調整回路が働きますので、録音レベルの調整は必要ありません。

このほかに、

- 遠くの声クリアに録音（レーダーマチック録音）
- 音声を感知して自動的に録音を開始  
ボイスオペレーション  
(VOS録音)する方法があります。



本機では、ノーマルテープのみ使えます。

## 確認

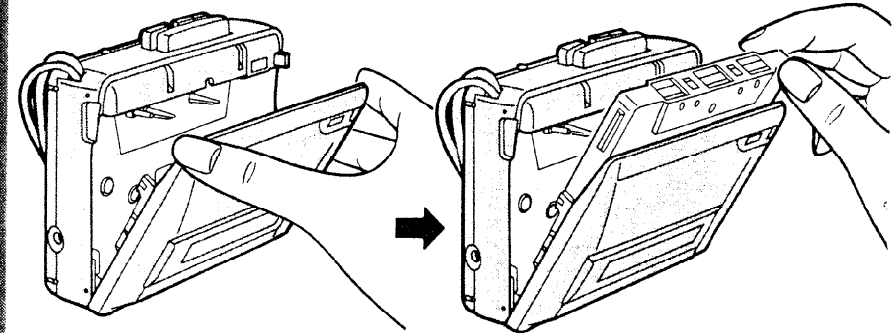
ボイスオペレーション

VOS/一時停止つまみが“切”になっていますか？

音質/レーダーマチックつまみが“切”になっていますか？

リーダーテープは巻取っていますか？

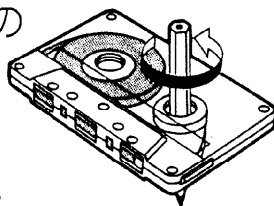
## 1 テープを入れる



### リーダーテープについて

テープの両端にある、  
録音できない部分の  
ことです。

右図のようにして、  
巻取ってください。



## 2 録音開始

録音



押す

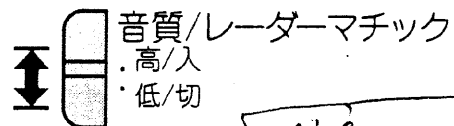
再生ボタンも同時に  
押込まれます。

### ■録音を止めるには

停止ボタンを押します。

## レーダーマチック録音をするには

本機には、レーダーマチック機能を備えてい  
ます。遠くの声クリアに録音することがで  
きます。会議や講演の録音に便利です。



録音前に“入”にします。

外部マイクでもok

緑色に点灯  
レーダーマチック

レーダーマチックイン  
ジケータが録音時に点  
灯します。

- 人の声以外（音楽など）を録音するときは  
“切”にしてください。

ヒント：\_\_\_\_\_

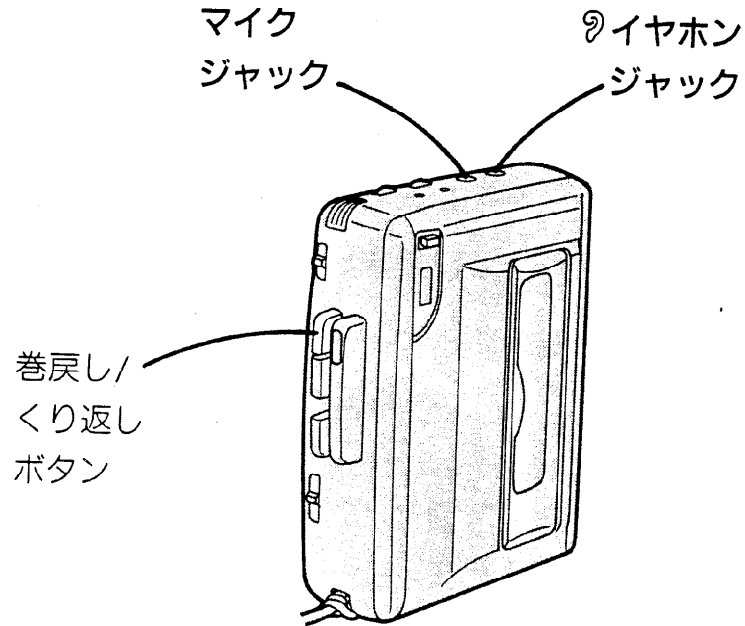
録音中、テープカウンターの数字を記録しておく  
と、再生時に便利です。

## 録音した内容を、すぐに聞きたいときは

録音中に、巻戻し/くり返しボタンを押すと、録音ボタンだけがもとに戻り、テープが巻戻されます。指を離すと、いま録音した内容を聞くことができます。

## 再生中、一部を録音し直したいときは

再生中に録音ボタンを押込むと、その位置から録音することができます。録音したものを一部修正したいときに便利です。



## モニタについて

録音している音声を、別売りのイヤホンで聞くことができます。

音量調整つまみで、モニタの音量を調整してください。

- イヤホンをマイクに近づけすぎると、ハウリング（ピーという音）が起こります。

このようなときは、マイクとイヤホンを離すか、音量調整つまみをしぼってください。

- ボイスオペレーションVOS録音(16ページ)中は、モニタの音量をボイスオペレーション変えると、VOSレベルも変わります。

## 録音を消すには

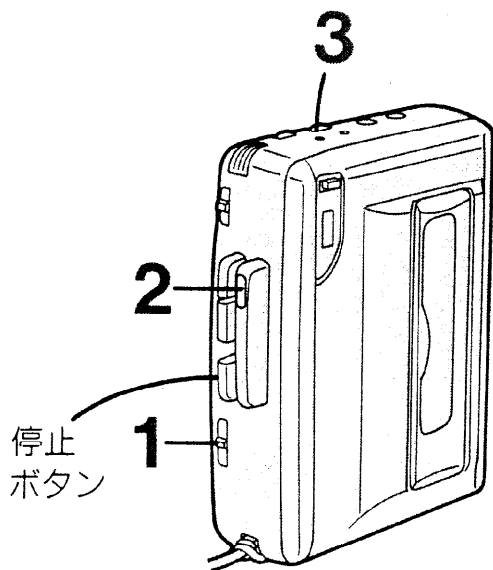
録音済みのテープに録音すると、前の録音は消されます。すべての録音を消したいときは、消去用プラグ（別売り）をマイクジャックに差込んで、録音状態でテープを走行させてください。

ボイスオペレーション

# VOS録音をするには

マイクに入る音声の大きさ  
ボイスオペレーション  
(VOSレベル) を感知して、自  
動的にテープを走行、停止させ  
る機能です。

マイクに音声が入っているとき  
テープが走行し、静かになると  
約4秒後に止まります。

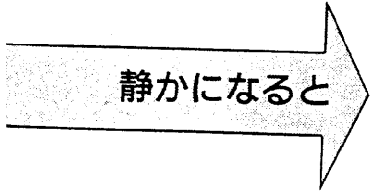


テープを入れ、レーダーマチック機能の入/切を選んでから操作しま  
す。

<p><b>1</b> ボイスオペレーション VOS録音モ ードにする</p> <p>↑</p> <p>VOS 入 切 一時停止 入 VOS / 一時停止</p> <p>“入”にする</p>	<p><b>2</b> 録音開始</p> <p>録音</p> <p>押す</p> <p>再生</p> <p>再生ボタンも同時に 押込まれます。</p>	<p><b>3</b> ボイスオペレーション VOSレベル を調整する</p> <p>音量 / VOS</p> <p>ボイスオペレーション 音量 / VOSレベル調 整つまみが“0”位置 では録音されません。</p>
---	---	--

- 音声が入ってテープがスタートしたとき、立上がり部分の音声がわずかに途切れることがあります。





静かになると

一時停止状態になります。

音声を感知すると、録音を再開します。

■録音を止めるには

停止ボタンを押します。

- 録音後は誤動作を防ぐため、ボイスオペレーションVOS/一時停止つまみを“切”にしてください。

ご注意

- レーダーマチック機能と併用したり、外部マイク（別売り）を接続してボイスオペレーションVOS録音するときには、右の表とはレベルが変わります。
- ボイスオペレーションVOS録音中は、モニタの音量を変えると、ボイスオペレーションVOSレベルも変わります。

ボイスオペレーション

## VOSレベルの調整

周囲の雑音や声の大きさなどを考慮して最適位置を決めてください。

音量/ <small>ボイスオペレーション</small> VOSレベル	調整のめやす
4 ↔ 7	通常はこの位置に合わせて録音してください。
1 ↔ 3	大きな音声だけ録音しません。小さい音声だと感知されず、録音できないことがあります。
8 ↔ 10	小さい音声も録音します。周囲の雑音などでもテープが止まらず録音されることがあります。

# お手入れ

## ヘッド部のお手入れ

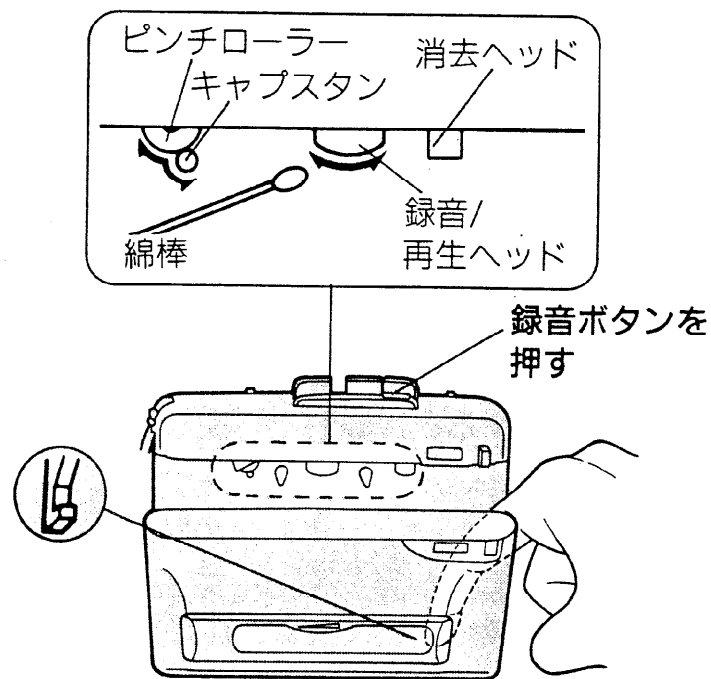
良い音でお楽しみいただくために、ときどきヘッドなどを綿棒かクリーニングキット(RP-919,別売り)できれいにしてください。雑音が多いときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

- ヘッドにドライバーなどの鉄類や磁気を帯びたものを近づけないでください。性能が悪くなります。

## 本体のお手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。



消去安全レバーを押しながら、録音ボタンを押すと、ヘッド部が出てきます。

### ご注意

- 本機には絶対に注油しないでください。注油しますと故障の原因になることがあります。

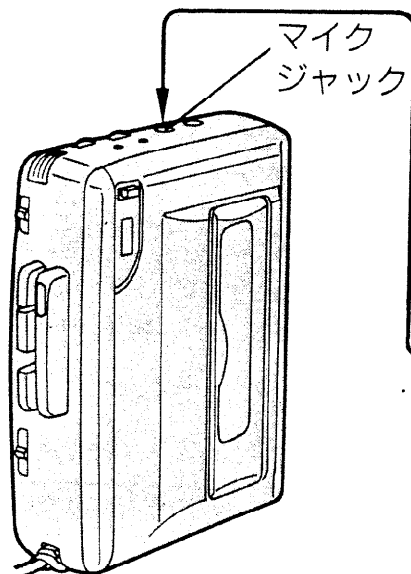
# 故障!? と思う前に

次の表に従って調べていただき、ご確認のうえ、直らないときにはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

現 象	確 認 方 法
テープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> <li>● 乾電池の入れかたが間違っていないですか？</li> <li>● 乾電池電源に切換えるとき、ACアダプタのプラグを本体からはずしていませんか？</li> <li>● VOS/一時停止つまみが“入”になっていませんか？</li> </ul>
ボイスオペレーション VOS録音時、テープが止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量/VOSレベル調整つまみが“10”近くになっていませんか？</li> </ul>
ボイスオペレーション VOS録音時、テープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音量/VOSレベル調整つまみが“0”近くになっていませんか？</li> </ul>
早送り・巻戻しが遅い、回転ムラ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> <li>● カセットテープの回転が重くありませんか？</li> </ul>
再生音が小さい。 録音・再生音が割れる。高音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッドが汚れていませんか？</li> <li>● 乾電池が消耗していませんか？</li> </ul>
録音ボタンが押込めない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機にカセットテープが入っていますか？</li> <li>● カセットテープのつめを折っていませんか？</li> </ul>

- 本機を他のラジオやテレビなどの電気機器の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。

# 別売りアクセサリ



## 外部マイクから録音するとき

- ネクタイピンマイクロホン…RP-VC3

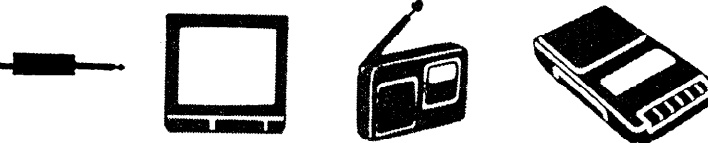


- コンパクトマイクロホン … RP-VC60  
RP-VC120



## テレビ、ラジオや他のテープレコーダから録音するとき

- マイク入力コードM …… RP-CA14A



## 電話機の声を検音するとき

- テレホンピックアップ…RP-WA1



## その他の別売りアクセサリ

- ACアダプタ …… RP-AC31A
- ヘッドクリーニングキット…RP-919
- 消去用プラグ⊕ …… QJP0959L  
(⊕はサービス部品扱いです。)

# アフターサービス

## 保証書（別に添付してあります。）——●

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

**保証期間—お買い上げ日から1年間**

## 修理を依頼されるとき——●

「故障!?と思う前に」に従って調べていただき、直らないときにはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れいりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

### ●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にご連絡ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間——●

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

## アフターサービスなどについて、

### おわかりにならないとき——●

お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談センター」（別紙）にお問い合わせください。

# 定格

トラック方式：モノラル

録音方式：交流バイアス

消去方式：マグネット消去

モニタ方式：バリアブルサウンドモニタ方式

周波数範囲：ノーマルテープ：180～7000Hz (EIAJ)

入力端子：マイク：0.25mV (150～600Ω)

出力端子：イヤホン：8Ω

スピーカ：4.5cm丸型 8Ω

実用最大出力：300mW (EIAJ)

(乾電池使用時)

電池持続時間：約3.5時間 (EIAJ録音時)

約4.0時間 (EIAJ再生時VOL.中央付近)

(付属ナショナル乾電池ネオ《黒》(R6P)使用時)

電源：乾電池：DC3V (単三形乾電池“R6/LR6”2本使用時)

AC：100V 50/60Hz (別売りACアダプタRP-AC31A使用)

最大外形寸法：95.3 (幅) × 115.8 (高さ) × 41.2 (奥行) mm (EIAJ)

重量：約255g (乾電池を含む)

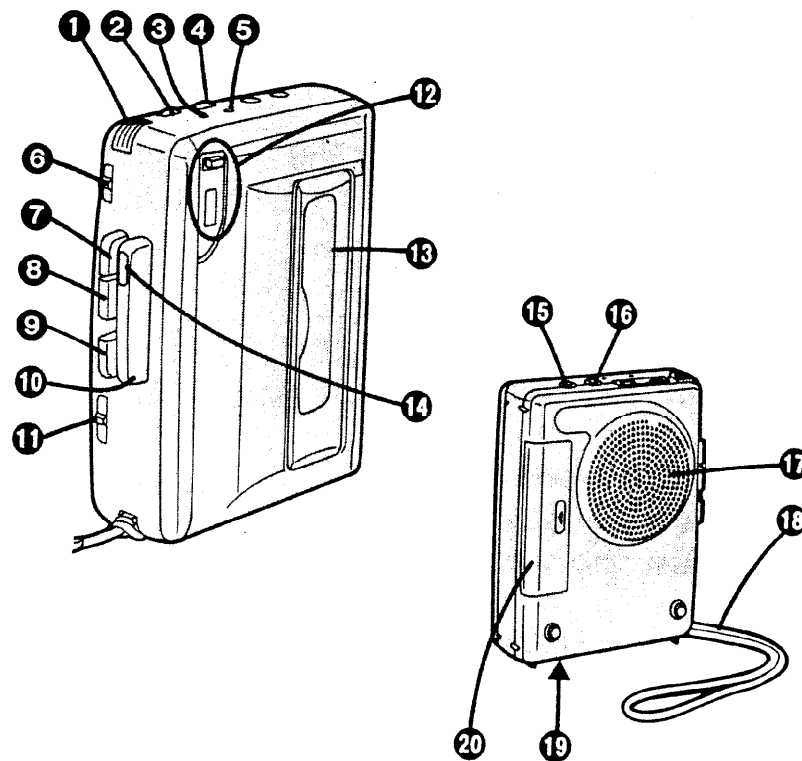
★この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

# Operating Instructions

## NAMES AND FUNCTIONS OF CONTROLS

- ① Built-in microphone
- ② Playback tape speed control
- ③ Sound level equalizer indicator
- ④ Volume/VOS level control
- ⑤ Recording/battery check indicator
- ⑥ Tone/sound level equalizer switch
- ⑦ Rewind/review button
- ⑧ Fast forward/cue button
- ⑨ Stop button
- ⑩ Playback button
- ⑪ VOS/pause switch
- ⑫ Tape counter and reset button
- ⑬ Cassette compartment cover
- ⑭ Record button
- ⑮ Earphone jack
- ⑯ External microphone jack
- ⑰ Speaker
- ⑱ Hand strap
- ⑲ DC input jack [bottom]
- ⑳ Battery compartment cover

Thank you for purchasing this unit.  
For optimum performance, follow these operating instructions carefully.  
Also, please see the illustrations put in the Japanese instructions.



## **BATTERY OPERATION**

(Refer to page 6.)

1. **Open the battery compartment cover.**
2. **Insert two "AA" size (R6P/UM-3) batteries into the battery compartment. Make sure that the batteries are installed with proper polarities.**

### **Battery life**

When the batteries are weak, the recording/battery check indicator will dim or turned off during operation, replace the batteries.

## **TAPE PLAYBACK**

(Refer to page 8.)

1. **Insert a cassette.**
2. **Press the playback button.**
3. **Adjust the volume.**

To stop the playback, press the stop button.

### **■ Fast forward and rewind**

The tape will move rapidly forward when the fast forward/cue button is pressed.

The tape will rewind rapidly when the rewind/review button is pressed.

### **Note:**

When the tape reaches the end by pressing the fast forward/cue button or rewind/review button, the automatic stop system does not function. The tape will stop, but as the motor continues to turn, do not leave the set in this condition. Be sure to press the stop button.

### **■ Cue and review**

If the fast forward/cue (or rewind/review) button is partially pressed during playback, the recorded sound on the tape can be monitored at a fast speed. When the button is released, playback will resume.



### ■ **Tape counter and reset button**

The digits return to "000" when the reset button is pressed. The digits advance with the tape to provide a reference to quickly find a desired portion of the tape.

### ■ **Tape speed control (for playback only)**

Using the tape speed control, the playback speed can be changed; you can make the speed slower to playback a part difficult to catch and faster to playback an unimportant part. It is useful to playback a tape which contains a conference or a lecture recording.

When it is set to the center click position with white mark, the tape is played back with a standard speed.

### ■ **Auto stop**

During playback or recording, when the tape reaches its end, the automatic stop system will release the playback and record buttons and automatically turn off the unit.

## **RECORDING**

(Refer to page 12.)

1. **Insert a cassette.**
2. **Press the record button.**

The recording indicator will illuminate.

**To stop the recording, press the stop button.**

### ■ **Quick review**

The review operation is possible during recording by pressing the rewind/review button, only the record button will be released and playback will begin.

### ■ **Edit function**

Recording can be started during playback by simply pressing the record button when using cassettes with tabs in place.

### ■ Sound level equalizer function

Sound level equalizer improves microphone recording in remote locations, away from the source. This is helpful in class and conference rooms.

To activate, set the tone/sound level equalizer switch to the “高/入” position.

The sound level equalizer indicator will illuminate.

### ■ Pause switch

The tape movement can be stopped temporarily by setting the pause switch to the “一時停止 入” position. The tape movement will start again when the “切” position. Be sure never to set the pause switch to the “一時停止 入” position for a long period of time to prevent deformation of the pressure roller.

### ■ Monitoring

The monitor system enables you to listen, through the earphone to the sound as it is being recorded. The monitor level can be adjusted by the volume/VOS level control.

### ■ Erasing

Recorded sounds on the tape are automatically erased when a new recording is made.

## VOS RECORDING

(Refer to page 16.)

(Voice Operation System)

When recording using the VOS function, the sound is recorded automatically so there is no tape waste.

Then the VOS switch is set to “ VOS 入”, the tape runs when sound is picked up by the built-in or external microphone and when no sound is picked up, tape stops running automatically (about 4 seconds later).

1. Set the VOS switch is set to “ VOS 入”.
2. Press the record button.
3. Adjust the voice operation level using the volume/VOS level control.

The lighting of the record indicator indicates that the tape is running and recording is being made.

- 1–3: If you wish to record only the louder sounds.
- 4–7: If you wish to record normal level sounds.
- 8–10: If you wish to record lower levels of sound than usual.
- No sound is recorded at the “0” position.

## **MAINTENANCE**

(Refer to page 18.)

## **SPECIFICATIONS**

Track system:	2-monaural track
Recording system:	AC bias
Erase system:	Magnet erase
Frequency range:	180–7000 Hz (Normal)
Jacks:	
Input;	MIC; 0.25 mV (150–600 $\Omega$ )
Output;	EARPHONE; 8 $\Omega$
Power output:	300 mW
Power requirement:	Battery; 3 V [two included “AA” size (R6P) batteries]
Dimensions:	95.3 (W) $\times$ 115.8 (H) $\times$ 41.2 (D) mm
Weight:	255 g (with batteries)

Specifications are subject to change without notice.

**Please consult the shop at which you have purchased the set about warranty and service.**

**便利メモ** (おぼえのために、記入されると便利です。)

販売店名	電話 (      )      -	お買い 上げ日	年    月    日
お近くの当社 ご相談センター	電話 (      )      -	品    番	RQ-L344

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06)909-1021

RQTT0006-S F1192D0

Printed in Taiwan